

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場会社名 タカラスタンダード株式会社

上場取引所 東大

コード番号 7981 URL <http://www.takara-standard.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 岳夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理管掌) (氏名) 田中 茂樹

TEL 06-6962-1531

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	98,937	△18.0	3,960	△23.4	4,124	△23.6	2,283	△21.1
21年3月期第3四半期	120,710	—	5,167	—	5,396	—	2,895	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	15.60	—
21年3月期第3四半期	19.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	177,290	116,140	65.5	793.59
21年3月期	176,748	115,165	65.2	786.89

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 116,140百万円 21年3月期 115,165百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	13.00	13.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

なお、21年3月期及び22年3月期(予想)の期末配当金には、特別配当3円00銭を含んでおります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△13.4	2,900	△17.4	3,000	△17.2	1,600	△17.0	10.93

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 147,874,388株 21年3月期 147,874,388株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,526,446株 21年3月期 1,519,065株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 146,352,871株 21年3月期第3四半期 146,369,632株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△ 13.4	2,900	△ 15.4	3,000	△ 15.7	1,600	△ 16.1	10.93

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の悪化に底打ちの兆しが見られるとの一部観測はあるものの、企業収益の低迷、設備投資の抑制、雇用環境の悪化、円高の進行など、依然として厳しい状況が続いております。

住宅市場におきましても、新設住宅着工戸数は前年同月比で平成21年12月まで13ヵ月連続の減少となり、更に暦年では45年ぶりに80万戸を割り込むほどの低水準で推移しております。また、リフォームにおきましても同様に力強さを欠く状況で推移いたしました。その結果、厳しい価格競争や不動産市況の悪化など、住宅設備機器業界を取り巻く環境は大変厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは新築需要・リフォーム需要の獲得による売上確保を図るべく、独自のホーロー技術を生かした商品開発を積極的に推し進めてまいりましたが、長引く分譲マンション市場の低迷の影響が大きくなり、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高989億3千7百万円（前年同期比18.0%減）、営業利益39億6千万円（前年同期比23.4%減）、経常利益41億2千4百万円（前年同期比23.6%減）、四半期純利益22億8千3百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ5億4千1百万円増加し、1,772億9千万円となりました。主な増減は流動資産では、現金及び預金の増加19億3千9百万円、受取手形及び売掛金の増加11億7千8百万円、商品及び製品の減少22億9千4百万円など、固定資産では、有形固定資産の減少12億7千7百万円、投資その他の資産の増加4億9千3百万円などであります。

負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ4億3千3百万円減少し、611億4千9百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べ9億7千5百万円増加し、1,161億4千万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億8千万円増加したことと、その他有価証券評価差額金の増加5億9千8百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、厳しい雇用・所得環境に加えて、新設住宅着工戸数の落ち込みは予想以上に大きく、リフォーム需要におきましても盛り上がりを欠く状況であり、住宅設備機器業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。これらの状況を踏まえ、平成21年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を、売上高1,300億円（前回発表予想との増減率8.5%減）、営業利益29億円（同19.4%減）、経常利益30億円（同18.9%減）、当期純利益16億円（同20.0%減）に修正しております。

また、平成21年10月8日にお知らせいたしました株式会社ミカドとの販売に関する基本合意につきましては、平成21年12月24日に同社が民事再生手続開始の申立を行ったことを受け、現在今後の進め方等について検討している段階であります。なお、本基本合意締結による業績への影響は、判明次第公表してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

重要な減価償却資産の減価償却の方法の変更

当社及び連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、建物は定額法、建物以外の有形固定資産については定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、建物以外の有形固定資産についても定額法に変更しております。

この変更は、平成19年度、20年度の税制改正に伴う、一連の減価償却制度の見直しを契機に、建物以外の有形固定資産の減価償却方法について検討した結果、費用収益のより適切な対応を図るために実施したものであります。

この変更により、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4億8千9百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,934	29,995
受取手形及び売掛金	42,316	41,138
商品及び製品	6,672	8,967
仕掛品	1,140	1,138
原材料及び貯蔵品	2,018	2,147
その他	3,836	3,211
貸倒引当金	△343	△197
流動資産合計	87,575	86,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,928	29,341
土地	36,040	35,993
その他（純額）	6,657	7,568
有形固定資産合計	71,625	72,903
無形固定資産		
投資その他の資産	1,502	1,351
投資有価証券	9,393	8,176
その他	7,199	7,923
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	16,586	16,092
固定資産合計	89,714	90,347
資産合計	177,290	176,748

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,626	23,280
短期借入金	9,900	9,900
コマーシャル・ペーパー	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	6,400	6,400
未払法人税等	1,343	645
その他	6,133	7,089
流動負債合計	47,402	48,314
固定負債		
退職給付引当金	12,165	11,670
役員退職慰労引当金	604	623
その他	976	975
固定負債合計	13,747	13,268
負債合計	61,149	61,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,356	26,356
資本剰余金	30,736	30,736
利益剰余金	56,855	56,474
自己株式	△883	△879
株主資本合計	113,065	112,688
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,717	1,118
土地再評価差額金	1,357	1,357
評価・換算差額等合計	3,075	2,476
純資産合計	116,140	115,165
負債純資産合計	177,290	176,748

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	120,710	98,937
売上原価	81,308	64,113
売上総利益	39,402	34,824
販売費及び一般管理費	34,234	30,864
営業利益	5,167	3,960
営業外収益		
受取利息	116	78
受取配当金	217	180
その他	307	291
営業外収益合計	640	551
営業外費用		
支払利息	125	91
その他	286	295
営業外費用合計	412	386
経常利益	5,396	4,124
特別利益		
預託金償還益	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除却損	154	176
投資有価証券評価損	241	—
特別損失合計	395	176
税金等調整前四半期純利益	5,012	3,947
法人税、住民税及び事業税	2,411	1,921
法人税等調整額	△294	△256
法人税等合計	2,117	1,664
四半期純利益	2,895	2,283

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。